



市民と



お話を伺いました

武蔵野市環境部 環境政策課計画係  
主任  
蜂谷 安季子さん



市内事業者と

武蔵野市

2050ゼロパートナー制度  
(キックオフイベントの様子)

誰もが当事者。市民と協働で目指す  
カーボンニュートラル

地球温暖化による気候変動への対策は、SDGsの目標の一つにも掲げられているように、全世界の大きな課題となっています。2015(平成27)年にパリ協定が採択され、世界的な平均気温上昇の抑制や、二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量の削減、また吸収作用の強化における共通の長期目標が掲げられました。

日本は2020(令和2)年10月に、2050(令和32)年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル(※)」を目指すことを宣言し、多摩地域でもそれぞれの自治体取り組みを進めています。

つながり、取り組む土壌を  
育む武蔵野市のアプローチ

「2050年ゼロカーボンシティ」を2021(令和3)年2月に表明した武蔵野市では、「地球温暖化対策実行計画2021」(2022改定版)を策定し、市民と事業者、そして自治体との協働による計画の推進を図っています。武蔵野市環境部の蜂谷安季子さんに、武蔵野市の課題や取り組みについて伺いました。

「武蔵野市のエネルギー使用による二酸化炭素の排出量は、住宅地(家庭部門)と商業地(業務部門)で全体の約80%を占めています。そのため、市民や市内の事業者がアプローチし協働していくことが重要です」

現在同市では、地域の特性を踏まえた取り組みとして、一般家庭の創エネ・断熱設備設置のための助成制度を実施しています。

また、2022(令和4)年7月から全5回で行われた「武蔵野市気候市民会議」には、様々な世代の68名が集まり、講師のレクチャーを聞き、市民の目線で気候変動対策について議論を活発に交わしました。この会議での議論を踏まえ、「気候危機打開武蔵野市民活動プラン(仮称)」を作成する予定です。

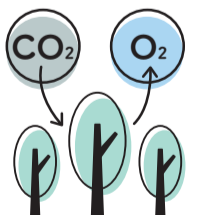
一方、事業者に向けてのアプローチとしては、地球温暖化対策を推進する事業者等の認定制度「2050ゼロパートナー」が開始されました。2050ゼロパートナーとして認定された事業者は、認定証の掲示や市のHPなどでの取り組み紹介、環境啓発施設「むさしのエコreゾート(左下コラム参照)」での広報活動などができるようになります。また、同制度の普及は、事業者同士のコネクションづくりや、地域全体でのカーボンニュートラルに向けた意識向上にも寄与することが期待されています。

「事業者さんの中には、温暖化対策への意欲はあるものの、具体的なノウハウがないために取り組めていないというケースもあります。地域の事業者さんがこの制度を通してつ



「2050ゼロパートナー」に認定されると認定証のステッカーデザインを広告や宣伝に活用できる

ながり、一步を踏み出すきっかけとなれば」と蜂谷さん。同制度については市内事業者に向けた勉強会を開催し、個別相談に応じるなど、自治体が全面的にサポートしています。地球温暖化という地球規模の課題に対して、地域のなかで成果を上げ



げていくには、「まずはそれぞれにフィットした取り組みから」と蜂谷さんは言います。プラスチックの削減や再生可能エネルギー電気への切り替えなど、一人ひとりが身近な取り組みを積み重ねていくことが、カーボンニュートラルな社会を切り拓く鍵となります。

※温室効果ガスの排出量から、植林、森林管理などによる吸収量を差し引いて、実質的に排出量をゼロにすること。

環境啓発施設 むさしのエコreゾート



地球温暖化を背景に、市民が様々な環境課題について学び合い活動するための拠点として2020(令和2)年11月にオープンした武蔵野市の環境啓発施設「むさしのエコreゾート」。誰もが利用できるフリースペースやものづくり工房、スタディールームなどが整備され、環境にまつわるイベントや講座が開催されています。



環境について学ぶ連続講座  
環境の学校Greenプロジェクト

みどりに囲まれた快適な生活を目指し、自分も社会も嬉しいエシカル生活を始めましょう。参加者を市内外より募集しています。



連続講座 途中参加OK 「コンポスト入門!『循環生活』のはじめ方」

生ごみを堆肥にして、野菜に変える。都市部でも気軽に取り組めるコンポストの方法を学び、自宅のベランダから始められる「循環生活」を考えます。

日 2023年1月21日(土) 14:00~16:00  
講師：平 希井氏(ローカルフードサイクリング株式会社 LFCコンポストアドバイザー)  
詳細はお問い合わせください。  
☎ 0422-60-1945 (武蔵野市環境部 環境政策課 環境啓発施設係)